

令和8年度 宮崎県優良工事表彰

受賞工事紹介

令和8年8月

宮崎県環境森林部・農政水産部・県土整備部

知事賞（環境森林部）

工 事 名： 令和6年度
復旧治山事業 竹元谷

施 工 者： 旭建設株式会社

工事概要： アンカー工 N=28本（L=855.0m）

発 注 者： 児湯農林振興局

－完成写真－



【取組の概要】

- ①当工事は、令和元年の台風及び令和2年の豪雨の影響により、大規模な地すべり性崩壊が発生したことから、その抑止工として排土及びアンカーを施工したものである。
- ②TLS（地上型レーザースキャナー）測量による土量解析により、3次元モデルを作成し、着手前の3次元モデルと比較することで掘削出来形の可視化と精度の高い土量計算を行った。
- ③地域住民に工事への協力と内容を理解していただくため、「かわら版」を毎月1回発行し、地域住民と良好な関係を築くなど、地域関係者との調整・協調に積極的に取り組んだ。
- ④現場は非通信環境下であるため、衛星通信ネットワーク技術を活用しWi-Fi環境の構築を図り、危険行為や異常の早期発見により安全性の向上に繋がった。また、コンピューターグラフィックにより再現した現場で工事事故の体験をすることで、事故への恐怖と事故防止対策への重要性を再認識することができた。
- ⑤統一した水平方向精度が要求される「ざぶとん枠」に対し、設計寸法の妥当性確認と、出来形精度の向上を図るため、事前に切土法面とざぶとん枠のBIM/CIMモデルの作成を行い出来形把握を行った。
- ⑥工事現場までの長距離移動や担い手不足に対する業務効率化のため、衛星通信ネットワーク技術を活用して35km離れた本社からドローンを遠隔操縦し、3次元測量や空撮を実施した。

知事賞(農政水産部)

工 事 名： 令和6年度 農業用河川工作物応急対策事業 粟野名地区1工区

施 工 者： 日新興業 株式会社

工事概要： 堰本體工（下流固定堰） L = 20.0m
仮設工 N = 1式

発 注 者： 東臼杵農林振興局

－完成写真－



※完成写真では工事概要が不明瞭であるため施工中の写真を添付

【取組の概要】

本工事は、河川内における既設頭首工の改修工事である。本工事で構築する構造物は、複雑な円形部等を有し県内有数の規模（高さ5.3m、堰長20.0m、堰幅20.0m）を誇るため、極めて高い技術的難易度を有する。さらに、深さ4.0mにおよぶ大規模な床掘りを伴うなど、施工にあたっては以下の厳しい制約やリスクが重複する過酷な条件下にあった。

- ①【工期の制約】 非出水期（11月～5月）に限られた工期。
- ②【増水リスク】 上流ダムの突発的な放流による水位上昇の危険が常時存在。
- ③【輻輳環境】 隣接2工区が同時施工を行うため、緊密な全体調整が不可欠。
- ④【周辺環境】 農地および鮎等、多大な環境配慮が必要。

これら施工上の課題に対し、安全協議会会長として全体工程の最適化を主導したほか、独自の仮設計画の工夫により「約30日間の工期短縮」を達成し、県の重点施策である事業効果の早期発現に多大な貢献を果たした。

また、地元営農環境や内水面漁協への綿密かつ主体的な配慮を徹底したことで、強固な地域信頼関係を構築し、終始円滑に工事を完遂させた。さらに、3次元データを活用した鉄筋及び土工の管理や杭ナビ等の最新ICT技術を全面的に導入し、現場の生産性向上とDX推進を体現した。

このように、過酷な条件下で品質・安全（完全無事故無災害）・工程のすべてにおいて他の工事の模範となる卓越した成果を上げた。

知事賞（県土整備部）

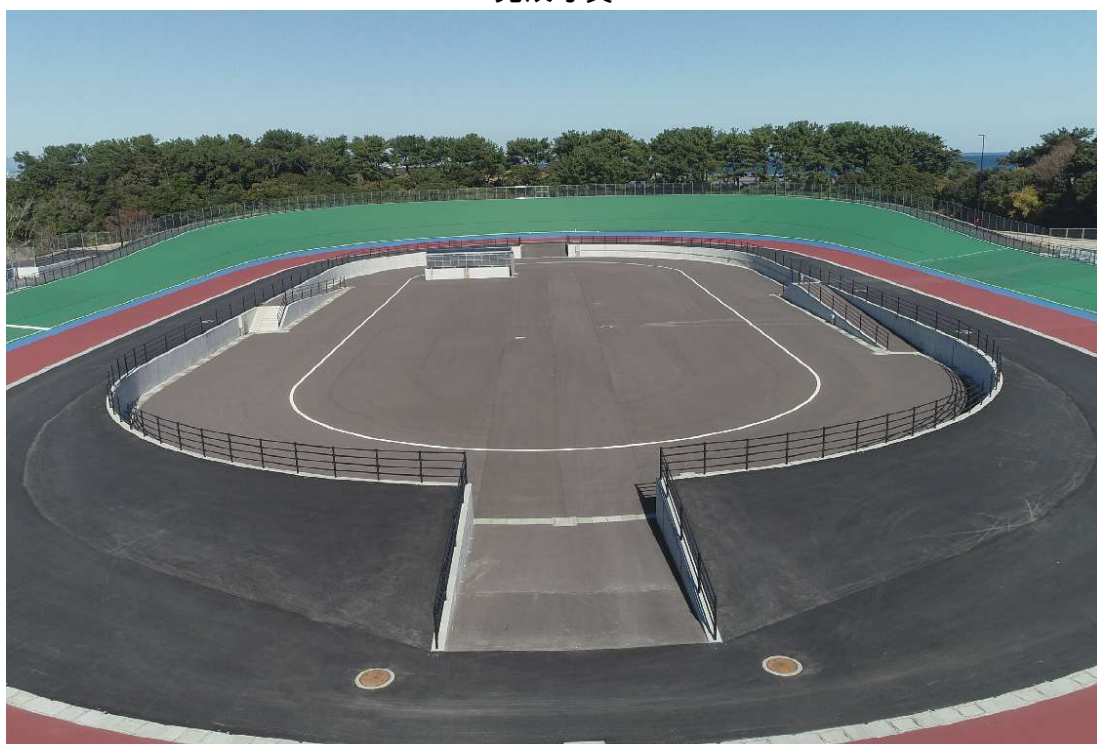
工 事 名： 令和5年度 社総練習 第32-4号
ひなた宮崎県総合運動公園 自転車競技場 走路舗装工事

施 工 者： (株)NIPPON 宮崎統括事業所

工事概要： ひなたペロドローム宮崎
トラック周長 L=333m トラック幅員 W=9.0m
路体盛土工 V=46,460m³ 舗装工 A=4,825m²
保護シーリング工 A=4,825m² ライン工 L=1,387.6m
排水工 L=297.6m 電気設備工 N=1式 給水設備工 N=1式

発 注 者： 宮崎土木事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

本工事で施工する自転車競技場は、直線部（勾配7度）から曲円部（勾配33度）を連続的につなぐ緩和曲線という非常に特殊な形状にありながら、選手が安全に走行できるように平坦性を確保する必要があった。

盛土法面では、ICT施工で整形を行い、また、上層路盤では急勾配に対応するためセメント処理砕石を使用して施工している。アスファルト舗装では、クレーンで施工機械を吊りながら施工するような特殊な施工により実施したほか、遠隔カメラにより自転車競技場の施工経験者に品質向上のための指導を受けながら施工を行った。

工事着手前には、改修前の自転車競技場撤去による建設副産物が27800m³発生していたが、自走式土質改良機を使用し石灰処理することにより、新たな競技場の盛土材として有効活用し、残土処分費や運搬費を削減した。また、自転車競技場内で最大10社近くの業者が施工する可能性があり、現場内が混雑し大変危険であったため、NIPPONを統括安全衛生管理義務者として安全協議会を実施することにした。関連工事との調整等が積極的に行われた結果、現場での事故もなく、予定通りに工事が進捗したため、オープニングセレモニーについても予定通り行うことができた。

知事賞（県土整備部）

工 事 名： 令和7年度 6急傾斜災 第333-2号
浦尻第4地区 急傾斜災害復旧工事

施 工 者： (株)田邊建設工業

工事概要： 復旧延長 L=79.1m
重力式擁壁工：V=276m³ 落石防護工 L=79.1m
排水工 L=68.9m 構造物取壊工 V=74m³
仮設防護柵工 L=24.0m 大型土のう工：134袋

発 注 者： 延岡土木事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

本工事は、令和6年10月豪雨による土砂崩れにより1名の方が亡くなった箇所の急傾斜災害復旧工事である。早期な復旧を目指す中、崩壊した斜面上部の切土施工箇所に所有者不明土地があり、取得に関して時間を要するため、擁壁工を優先し施工した。

施工に際しては、上部にオーバーハング部を残しているため、上部の変位モニタリングを毎日実施し、施工の安全性を確保した。また被災住民の不安に寄り添い、地元の意向や擁壁裏の堆積土砂清掃等の要望に対して自主的に対応するなど、地域環境の改善に寄与した。

コンクリート打設剤の採用により処理水発生の抑制、NETIS登録技術搭載の油圧ショベルの使用など安全衛生、環境保全に努めた。また排水構造物の継手部にコンクリート巻込による漏水対策を施すなどコンクリート構造に対する耐久性向上にも努めた。

夏期の炎天下での熱中症リスクを回避するため、打設計画を午前中で完了させる行程管理を徹底した。施工時斜面の一部崩壊等もあったが、緻密な工程管理を行い、2ヶ月の大幅な工程短縮を図った。

知事賞（県土整備部）

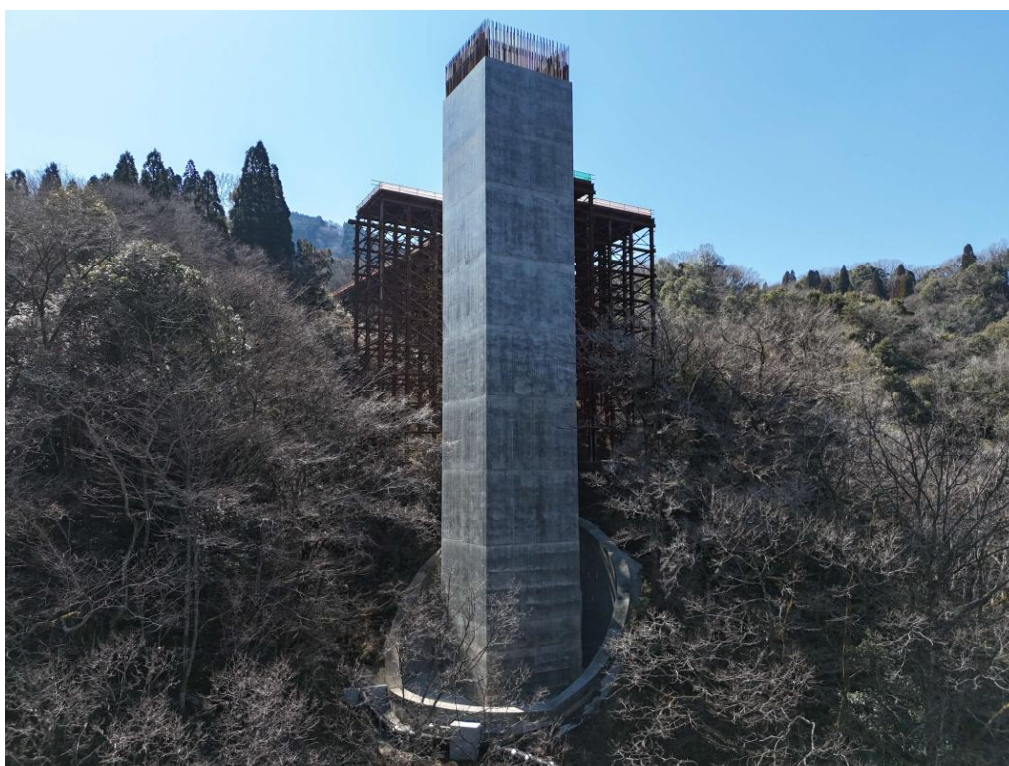
工 事 名： 令和4年度 交付建設 第36-13-2号
竹田五ヶ瀬線 波帰之瀬工区
（仮称）波帰之瀬橋 橋梁下部工（P2）工事

施 工 者： 山崎・松澤・あさひ特定建設工事共同企業体

工事概要：（仮称）波帰之瀬橋 下部工
P2 橋脚 H=48.0m
基礎形式 深礎杭基礎 直径13.5m
L=16.5m N=1本
橋長 L=412.0m
幅員 W=6.5m

発 注 者： 西臼杵支庁

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は、大分県竹田市と宮崎県五ヶ瀬町を結ぶ県道竹田五ヶ瀬線における橋長412m（仮称）波帰之瀬橋のP2橋脚工事である。

本施工箇所は、山間部の急峻な地形にあり、厳しい現場環境での大規模なコンクリート構造物を構築するため、品質管理と安全対策が重要な課題であった。

このため、品質管理では、橋脚躯体工のコンクリート打設において、温度ひび割れ防止を目的に、測定器械として埋設型「SmartRock3」を使用し、コンクリート内部温度を測定し、脱枠時期についての管理を行った。

安全対策では、気象の影響を受けやすい仮設構台上の作業において自然災害防災システム「ZEROSAI」を取り入れ、各種気象情報を光と音の警報システムで作業員に周知した。また、IQシステム足場を使用し、従来より高さを確保するなど、いかなる状況にも対応できる体勢を整えておくことで安全性を確保することができた。

地域への配慮として、現場見学会の開催（計3回）や、毎月配布するチラシでの現場の進捗状況や大型車両等の出入り等の情報共有を行い、地元の理解と協力を得ながら施工することができた。

以上のように技術的困難の克服や地域への配慮を行って工事を完成させたことは、他の工事の模範になる事例として高く評価される。

環境森林部長賞

工 事 名： 令和7年度
緊急予防治山事業 佐別当工区

施 工 者： 中央建設株式会社

工事概要： ロープ伏工 A=2, 866. 8m²
A工区 : A=2, 239. 1m²
B工区 : A= 497. 6m²
A'工区 : A= 130. 0m²
仮設工 N= 1式（モノレール等）

発 注 者： 西臼杵支庁

— 完成写真 —



【取組の概要】

- ①本工事は、築設された落石防護柵が経年劣化や倒木・落石により破損箇所が見受けられる状態であり継続的に落石が発生する状況であったことから対策工を実施したものである。
- ②斜面勾配が急峻で岩の節理が発達しており、斜面を構成している地質が脆弱で、水の凍結・融解作用や地震、樹木の根等により節理が拡大し継続的に落石が発生する現場において、安全訓練や社内パトロールを徹底して行い無事故で工事を完了させた。
- ③資材搬入等で利用する県道は通勤・通学にも利用されていることから、関係機関と協議を行い誘導員の配置や看板の設置を行うとともに、資材搬入等は通勤・通学時間を避けた時間帯に行うなど地域住民に工事内容の周知と工事への協力を得るため説明を行った。また、学校に隣接していることから発動発電機の周囲に防音シートを設置したり、児童が工事区域内へ侵入したりしないようにバリケードを設置して教員への説明を行った。
- ④当工事箇所には神社があり、落石等により損傷しないように仮設防護柵を設置し、神社に損傷を与えることなく工事を完了させた。施工範囲外の上部に転石が確認され、調査の結果、支障無かったが、施工時の落石防止を図るためロープ掛工を施工し作業員の安全確保を図った。7月からの工事で、真夏日（30℃以上）の割合が34%あったが、熱中症対策を十分に行ったことで作業員の体調不良等もなく工事を完成させた。

農政水産部長賞

工 事 名： 令和6年度畑地帯総合整備事業（担手育成）
川間東1期地区1工区

施 工 者： 株式会社淵上組

工事概要： 整地工 A＝4.7ha
 道路工 L＝553.0m
 排水路工 L＝888.9m

発 注 者： 西諸県農林振興局

－完成写真－



【取組の概要】

本工事は、小林市東部に位置する畑作地帯のほ場整備工事であり、起伏差の大きい地形条件のため、大規模な切盛と複雑な運土作業を要する難易度の高い工事である。

施行中には、地元から造成高さ変更要望があり、臨機に土量計算、運土計画の見直しを行い、迅速かつ円滑な地元合意形成に寄与した。

施工時の工夫として、重機走行による営農再開後の排水不良を防止するため、ほ場内運土作業におけるダンプ走行経路を固定した施工や、降雨時の濁水流出防止のための仮設沈砂池設置、豪雨対策として盛土法面養生のための仮設シート設置や張芝工による法面保護を自主的に実施した。

また、ICTを活用したほ場整備工事を実施することで、施工精度の向上や作業の効率化・省力化が図られ、円滑な工事進捗及び生産性向上につながった。

さらに、中学生のインターンシップを受け入れ、土地改良事業の啓発及び建設業の魅力発信を図った。

これらの取組により良質な農業基盤を遅滞なく完成させ、整備されたほ場では大型農業機械を活用した営農活動が行われており、他の模範として高く評価されるものである。

県土整備部長賞

工 事 名： 令和6年度 5 河川災第140号
坪谷川 羽坂地区外1箇所 河川災害復旧及び河道掘削工事

施 工 者： (株) 三郎建設

工事概要： 復旧延長 RL=172.7m

ブロック積 A=940m²
横帯工 N=3基
大型土のう N=186袋
汚濁防止フェンス L=20.0m
掛樋工 L=56.0m

小口止工 N=2基
工事用道路 L=199.0m
仮締切排水工 N=5箇所
瀬替工 V=1,326m³
河道掘削 V=1,171m³

発 注 者： 日向土木事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

本工事は、河川災害復旧工事と河道掘削工事を併せて実施する工事である。

当現場は、河川が二又に分岐する特殊な地形であり、降雨時には施工箇所へ流水が流入しやすいなど、施工上の制約が多い現場であった。

このような条件の中、河川内土砂を有効活用した土堤を上流部に設置し、流水を分流させることで、安全な作業環境の確保と施工効率の向上を図った。

また、工事だよりによる地域住民への情報提供や、農業排水施設に関する地元関係者及び日向市との立会い調整を行うなど、地域営農への影響にも配慮した。

さらに、河道掘削にあたっては、生態系調査を実施するとともに、ワンドやタマリの設置、河川内巨石の残置など、魚類等の生息環境に配慮した施工を行った。

加えて、小口止工への二次製品の採用など施工方法を工夫し、省力化と施工速度の向上を図ることで、非出水期内の完成に努めた。

特に、現場条件に応じた水替え、地域調整、環境配慮及び工期短縮に係る創意工夫により、工事を円滑に完成させたことは、他の模範となるものであった。

工 事 名： 令和6年度 防安港湾 第82-3-2-1号
宮崎港 西地区 泊地-4.5m浚渫工事

施 工 者： (株) 志多組

工事概要： 宮崎港 日地区 泊地-4.5m浚渫工事

浚渫面積 A=3,856m²
浚渫（純土量） V=4,909m³
浚渫（余堀土量） V=1,926m³
海洋投入（約16km沖捨） V=6,835m³
底質調査 N=1式 潜込防止（安全対策） N=1式

発 注 者： 中部港湾事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

本工事は、宮崎港 西地区 泊地の浚渫工事で、堆積土砂の土質特性を考慮し、環境省の許可を得て沖合約16kmの指定区域へ適切な海洋投入処分を実施するものである。

当該施工者は、在港船調査により稼働可能な土運船を手配できないことから、工法の変更や新たな作業船の手配を優先し、また、あわせて漁船等の移動・アンカー引揚・海洋投入時の工夫など施工上の問題やシラスウナギ漁による工程の制約など様々な課題に対し、着手前から積極的に関係者との調整を密にした上で、技術的な検討や立案を行い、さらに、他の漁港浚渫工事受注者と連携して解決を図り、無事故かつ円滑に工事を完成させた。

県土整備部長賞

工 事 名： 令和5年度第3053-7 -7号
新宮崎県体育館建設電気工事（2期）

施 工 者： 三桜電気工業（株）

工事概要： 体育館（メインアリーナ）
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 一部木造
地上2階建 施工部分床面積7,774㎡に係る電気工事

発 注 者： 営繕課

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は、令和9年に本県で開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場となる新宮崎県体育館メインアリーナの建設に係る電気工事である。

施工にあたっては、大規模工事であり多数の関連工事との錯綜が予想されることから、設備工事会社3社のCADを統一し、3DCADを活用することでEPSや機械室での配管の配置や施工順序を協議し、手戻りの少ない効率的な施工を行った。さらに完成図書にCADデータとビューワーを添付し、将来のメンテナンスや改修工事に備えた。

また、照明や放送設備などのアリーナ天井設置器具について、運用後の保守管理を安全かつ省力的に行えるよう、キャットウォーク上に設置器具が移動できる構造の器具固定用金具を提案し、運用を考慮した施工を行った。

発注機関長賞（環境森林部）

- ① 工 事 名：令和5年度地方創生道整備推進交付金事業（開設）
下鹿川・上鹿川線（2－2工区）

施 工 者：株式会社田邊建設工業

工事概要：橋梁上部工
橋長 $L = 19.0\text{m}$
幅員 $W = 4.0\text{m}$ （6.25m）
形式 鋼単純桁合成H鋼桁
架設方法 クレーン架設

発 注 者：東臼杵農林振興局

－完成写真－



- ② 工 事 名：令和7年度緊急総合治山事業
押建

施 工 者：八重尾産業有限会社

工事概要：法枠工 $A = 2,695.8\text{m}^2$
水路工 $L = 172.9\text{m}$
仮設工 1式

発 注 者：西諸県農林振興局

－完成写真－



- ③ 工 事 名：令和6年度災害関連緊急治山事業
フケ原

施 工 者：藤川建設株式会社

工事概要：床固工（コンクリート）1基
 $V = 158.8\text{m}^3$
 $L = 18.0\text{m}$
 $H = 5.0\text{m}$

発 注 者：北諸県農林振興局

－完成写真－



- ④ 工 事 名：令和6年度林地荒廃防止事業
舞台ヶ迫

施 工 者：株式会社 東浜興業

工事概要：床固工（木製校倉式床固工）1基
 $V = 210.8\text{m}^3$
 $L = 24.0\text{m}$
 $H = 4.62\text{m}$

発 注 者：南那珂農林振興局

－完成写真－



発注機関長賞(農政水産部)

- ① 工 事 名 : 令和6年度湛水防除事業
正蓮寺地区1工区

施 工 者 : 株式会社田村産業

工事概要 : 排水路工(布製型枠水路) L=140.0m

— 完成写真 —



発 注 者 : 中部農林振興局

- ② 工 事 名 : 令和6年度農業用河川工作物応急対策事業
大島地区1工区

施 工 者 : 株式会社谷口組

工事概要 : 頭首工(魚道工) N=1箇所

— 完成写真 —



発 注 者 : 南那珂農林振興局

- ③ 工 事 名 : 令和6年度畑地帯総合整備事業(担手支援)
牧之原2-3期地区2工区

施 工 者 : 株式会社清水組

工事概要 : 畑地かんがい管水路工(φ75~150)
L=418.7m
農道工(全幅4.0m、有効幅員3.0m)
L=409.0m
排水路工(U型側溝300~400型)
L=267.9m

— 完成写真 —



発 注 者 : 北諸県農林振興局

- ④ 工 事 名 : 令和6年度
畑地帯総合整備事業(担手育成)
小林東部第2-2期地区4工区

施 工 者 : 大幸建設株式会社

工事概要 : 管水路工 L=1,180.5m

— 完成写真 —



発 注 者 : 西諸県農林振興局

発注機関長賞(農政水産部)

- ⑤ 工 事 名 : 令和6年度経営体育成基盤整備事業
大和地区 2 工区

— 完成写真 —

施 工 者 : 株式会社山下建設

工事概要 : 暗渠排水工 A=6.4ha



発 注 者 : 児湯農林振興局

- ⑥ 工 事 名 : 令和6年度ため池等整備事業(土砂崩壊)
一の水地区 2 工区

— 完成写真 —

施 工 者 : 高千穂土木株式会社

工事概要 : 水路トンネル(掘削・支保工)
L=34.8m



発 注 者 : 西臼杵支庁

- ⑦ 工 事 名 : 令和6年度機能強化第10-25-2号
青島漁港 沖防波堤改良工事(その3)

— 完成写真 —

施 工 者 : 大和開発株式会社

工事概要 : ・沖防波堤
消波ブロック設置(50t) N=26個
消波ブロック設置(40t) N=37個
上部工 L=47.0m



発 注 者 : 中部港湾事務所

- ⑧ 工 事 名 : 令和6年度6漁港災第8-1号
大堂津漁港西岸壁外 ほか1漁港 災害復旧工
事

— 完成写真 —

施 工 者 : 株式会社竹井建設

工事概要 : ・大堂津漁港 東(-)4.0m岸壁
復旧延長L=70.5m
コンクリート舗装A=183㎡
・大堂津漁港西岸壁外
復旧延長L=130.9m
コンクリート舗装A=745㎡
・目井津漁港 -5.0m岸壁
復旧延長L=56.6m
コンクリート舗装A=251㎡



発 注 者 : 油津港湾事務所

発注機関長賞(農政水産部)

⑨ 工 事 名 : 令和7年度特定流通第1-1-2号
市振地区 古浦南防波堤改良工事(その2)

— 完成写真 —

施 工 者 : 松本・児玉経常建設共同企業体

工事概要 : 延長 L = 52 m
腹付コンクリート L = 42 m
V = 750 m³
基礎捨石 V = 408 m³



発 注 者 : 北部港湾事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ① 工 事 名： 令和6年度大規模河第10-6-02号
小松川 河川改修工事

施 工 者： 伸洋・隆盛経常建設共同企業体

工事概要： 小松川上流工区
延長 L = 229.6m
掘削工 V = 1,124m³
笠コンクリート工 L = 281.8m
根固工 N = 412個
小松川下流工区
延長 L = 1,050m
伐竹工 A = 3,180m²
伐木工 N = 5本

発 注 者： 宮崎土木事務所

— 完成写真 —



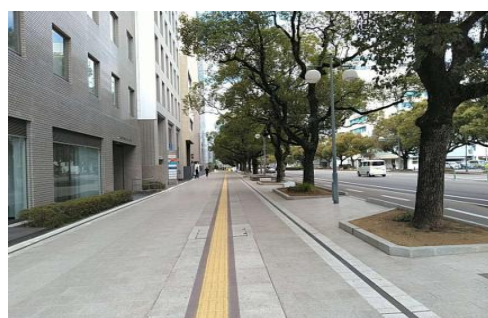
- ② 工 事 名： 令和6年度都再まち第91-1-1号
高千穂通線 高千穂通工区 歩道改良工事

施 工 者： 龍南建設（株）

工事概要： 延長 L = 204.8m
自転車道舗装工 L = 109m W = 2.0m
A = 213m²
特殊ブロック設置工 A = 745m²
電線共同溝蓋設置 N = 114枚
側溝工 L = 42.0m
歩車道境界ブロック工 L = 156.9m
植栽柵縁石工 L = 139.3m

発 注 者： 宮崎土木事務所

— 完成写真 —



- ③ 工 事 名： 令和6年度大規模河第10-4-5号
戸高川 河川改修工事 その2

施 工 者： （株）河野組

工事概要： 延長 RL=120.0m
ブロック積 A=209m²
小口止工 N=2基
樋管工 N=1基
水路工 L=34.2m
根固めブロック1.0t N=22個
矢板工 N=199枚

発 注 者： 日南土木事務所

— 完成写真 —



- ④ 工 事 名： 令和2年度交建防安第49-8-5号
国道448号 石波工区
（仮称）石波トンネル工事（2工区）

施 工 者： 前田・坂下・山崎特定建設工事共同企業体

工事概要： 延長 L = 1,044.0m
幅員 W = 6.0 (8.5)m
トンネル本体工 L = 1,044.0m
抗門工 N = 1基

発 注 者： 串間土木事務所

— 完成写真 —



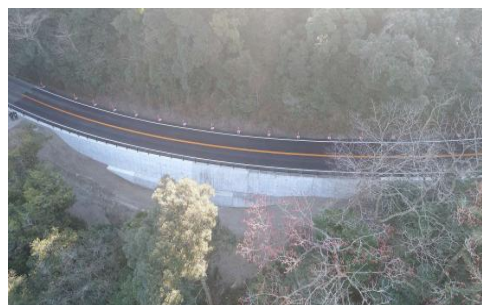
発注機関長賞（県土整備部）

- ⑤ 工 事 名： 令和6年度法面一般第969-4-1-1号
国道223号 夏尾工区 防災工事

－ 完成写真 －

施 工 者：（株）徳満建設

工事概要： 施工延長 $L=90.0\text{m}$ 道路幅員 $W=7.5\text{m}$
地山圧縮補強土工 $L=590.9\text{m}$ $N=60$ 本
重力式擁壁工 $L=28.8\text{m}$ $V=92\text{m}^3$
土留残存処理工 $L=59$ 枚
舗装工 $A=664.0\text{m}^2$
道路付属物 $N=1$ 式



発 注 者： 都城土木事務所

- ⑥ 工 事 名： 令和7年度臨県打換第10-12-1号
県道三股高城線 山之口工区 舗装補修工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 吉原建設（株）

工事概要： 施工延長 $L=301.0\text{m}$ 道路幅員 $W=7.0\sim 7.95\text{m}$
路面切削工 $A=2,323\text{m}^2$
表層工 $A=2,323\text{m}^2$
区画線工 $L=903\text{m}$



発 注 者： 都城土木事務所

- ⑦ 工 事 名： 令和6年度補砂メ砂第3-1-1号
東岳川床固1 溪流保全工改築工事その1

－ 完成写真 －

施 工 者： 丸昭建設（株）

工事概要： 床固工 $V=128\text{m}^3$
垂直壁工 $V=42\text{m}^3$
側壁護岸工 $A=59\text{m}^2$
水叩き工 $V=20\text{m}^3$
根固ブロック工 $N=15$ 個



発 注 者： 都城土木事務所

- ⑧ 工 事 名： 令和6年度5河川災第111-2号
大沢津川 河川災害復旧工事

－ 完成写真 －

施 工 者：（株）小園建設興業

工事概要： 復旧延長 $RL=60.6\text{m}$ $LL=60.6\text{m}$
ブロック積工 $A=337\text{m}^2$
小口止工 $N=1$ 基
張芝工 $A=150\text{m}^2$
床張ブロック工 $L=60.6\text{m}$
構造物取壊工 $V=136\text{m}^3$
工事用道路工 $L=70.0\text{m}$
仮締切排水工 $N=1$ 箇所 等



発 注 者： 小林土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ⑨ 工 事 名： 令和6年度補助交安第1-5-3-2号
国道221号 麓工区 歩道整備工事

施 工 者：（株）東園工務店

工事概要： 延 長 $L=380.0\text{m}$
歩道幅員 $W=2.5\text{m}$
側溝工 $L=324.7\text{m}$
溜樹工 $N=4\text{基}$
縁石工 $L=152.7\text{m}$
舗装工 $A=819\text{m}^2$
区画線工 $L=382.1\text{m}$
構造物取壊工 $V=155\text{m}^3$

発 注 者： 小林土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑩ 工 事 名： 令和5年度交付建設第60-3-1号
木脇高岡線 太田原工区
（仮称）宮王丸橋 下部工工事（P3）

施 工 者：（株）藤元建設

工事概要： P3橋脚 $H=16.0\text{m}$
橋長 $L=246.0\text{m}$
幅員 $W=6.5(11.0)\text{m}$
基礎形式 場所打ち杭基礎 $\phi 1500$
 $L=26.5\text{m}$ $N=12\text{本}$

発 注 者： 高岡土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑪ 工 事 名： 令和6年度緊災防債第1160-01-1号
飯田川 4号樋門改修工事

施 工 者： 許斐建設（株）

工事概要： 川表水路工 $V=6.0\text{m}^3$
間知ブロック張 $A=43\text{m}^2$
上屋撤去 $N=1\text{式}$
ゲート撤去 $N=1\text{式}$
管理橋撤去 $N=1\text{式}$

発 注 者： 高岡土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑫ 工 事 名： 令和6年度防災急傾第914-2号
水流-1地区 急傾斜地崩壊対策工事

施 工 者：（株）井沢建設

工事概要： 延長 $L=53.7\text{m}$
重力式擁壁工 $V=213\text{m}^3$
落石防護柵工 $L=52.7\text{m}$
排水工 $L=52.2\text{m}$

発 注 者： 高岡土木事務所

－ 完成写真 －



発注機関長賞（県土整備部）

- ⑬ 工 事 名： 令和5年度交建防安第956-3-1号
国道219号 越野尾二之渡工区 道路改良工事

— 完成写真 —

施 工 者： 河野建設（株）

工事概要： 延長 $L=35.8\text{m}$
幅員 $W=5.5(7.0)\text{m}$
軽量盛土工 $V=1,581\text{m}^3$
鉄筋挿入工 $N=72\text{本}$
アンカー工 $N=31\text{本}$



発 注 者： 西都土木事務所

- ⑭ 工 事 名： 令和6年度5河川災第133-2号
銀鏡川 河川災害復旧工事

— 完成写真 —

施 工 者： （株）末吉建設

工事概要： 復旧延長 $L=61.7\text{m}$
($LL=61.7\text{m}$)
大型ブロック $A=240\text{m}^2$
ブロック積 $A=43\text{m}^2$
間詰コンクリート $N=1\text{式}$
仮設工 $N=1\text{式}$



発 注 者： 西都土木事務所

- ⑮ 工 事 名： 令和6年度6河川災第325号
都農川 河川災害復旧工事

— 完成写真 —

施 工 者： （株）天井丸建設

工事概要： 復旧延長 $LL=42.1\text{m}$
大型ブロック $A=10\text{m}^2$
ブロック積工 $A=203\text{m}^2$
小口止工 $N=2\text{基}$
張芝工（野芝） $A=38\text{m}^2$
構造物取壊工 $V=29\text{m}^3$
工事用道路敷砂利 $L=5.0\text{m}$
大型土のう工 $N=87\text{袋}$ 等



発 注 者： 高鍋土木事務所

- ⑯ 工 事 名： 令和5年度4河川災第584-01号
耳川 小八重5地区 河川災害復旧工事

— 完成写真 —

施 工 者： 旭建設（株）

工事概要： 復旧延長 $L=142.0\text{m}$
1工区 $L=142.0\text{m}$
大型ブロック積 $A=1,077\text{m}^2$
小口止工 $N=1\text{基}$



発 注 者： 日向土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ⑰ 工 事 名： 令和5年度 4 道路災第724-1号
国道327号 松の平工区 道路災害復旧工事

－ 完成写真 －

施 工 者：（株）内山建設

工事概要： 延長 L = 7 4 . 0 m
幅員 W = 5 . 6 m

鋼製栈道工 L = 6 1 . 0 m W = 5 . 6 m

杭本数 N = 2 2 本

L = 9 . 0 m ~ 2 5 . 6 7 m

軽量盛土工 L = 8 . 0 m A = 5 6 m²

重力式擁壁 V = 2 1 m³

舗装工 A = 3 3 0 m²

発 注 者： 日向土木事務所



- ⑱ 工 事 名： 令和6年度交建防安第58-4-2号
県道岩戸延岡線 黒岩工区 道路改良工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 豊松建設（株）

工事概要： 延 長 L = 1 0 0 . 0 m
幅 員 W = 5 . 5 (9 . 5) m

掘削工 V = 7 , 2 3 2 m³

法面工 A = 2 6 2 m²

排水構造物工 L = 6 4 . 5 m

発 注 者： 延岡土木事務所



- ⑲ 工 事 名： 令和5年度 4 道路災第283-2号
県道日之影宇目線外 1 路線
見立地区外 1 地区 道路災害復旧工事

－ 完成写真 －

施 工 者：（株）工藤興業

工事概要： 【R4災】

第283号 日之影宇目線 大型ブロック A=130m²

外

第284号 日之影宇目線 ブロック積 A= 25m²

外

第298号 北方高千穂線 大型ブロック A= 70m²

外

第650号 日之影宇目線 大型ブロック A=383m²

外

発 注 者： 西臼杵支庁



- ⑳ 工 事 名： 令和5年度 4 河川災第743号
日向川 河川災害復旧工事

－ 完成写真 －

施 工 者：（株）矢野興業

工事概要： 復旧延長 L = 1 2 9 . 5 m (R L = 1 2 9 . 5 m)
大型ブロック A = 7 8 0 m²
根固工 N = 1 7 0 個

発 注 者： 西臼杵支庁



発注機関長賞（県土整備部）

⑲ 工 事 名： 令和7年度県単維持第21-1-1号
宮崎港 一ツ葉地区
臨海公園駐車場舗装補修工事

施 工 者：（株）東浜興業

工事概要： 臨海公園 駐車場舗装補修
舗装補修工 $A = 3,288 \text{ m}^2$
区画線 $L = 1,101 \text{ m}$

阿波岐原森林公園 園路舗装補修
舗装補修工 $A = 545 \text{ m}^2$
区画線 $L = 191 \text{ m}$

発 注 者： 中部港湾事務所

－ 完成写真 －



⑳ 工 事 名： 令和6年度港交付金第13-51-6号
外浦港 物揚場（-2.0m） 棧橋補修工事

施 工 者： 富岡建設（株）

工事概要： 外浦港
物揚場補修工事 上部工（1・2ブロック）
延長 $L = 40.0 \text{ m}$
付属工 $N = 1$ 式
被覆防食工（撤去） $N = 7$ 箇所

発 注 者： 油津港湾事務所

－ 完成写真 －



㉑ 工 事 名： 令和6年度港メンテ第7-21-1-1号
延岡港 方財地区 1号棧橋補修工事

施 工 者：（株）山崎産業

工事概要： 1号棧橋補修工事
（2・3・4ブロック）
ひび割れ注工
断面修復工 $L = 26.8 \text{ m}$
断面修復工 $A = 10.8 \text{ m}^2$
電気防食工 $A = 131 \text{ m}^2$

発 注 者： 北部港湾事務所

－ 完成写真 －



㉒ 工 事 名： 令和5年度第3053-7-8号
新宮崎県体育館建設空調工事（2期）

施 工 者：（株）九南

工事概要： 体育館（メインアリーナ）
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 一部木造
地上2階建 施工部分床面積 $7,774 \text{ m}^2$ に係る空
調工事

発 注 者： 営繕課

－ 完成写真 －

